

# 令和4年度 第1回群馬県総合教育会議 議事録

**開催日**：令和4年6月24日（金）10：30～11：30

**会場**：吉岡町立明治小学校（北群馬郡吉岡町北下433）

**出席者**：【会議構成員】

山本知事、平田教育長、益田教育長職務代理者、竹内委員、代田委員  
沼田委員、河添委員

【有識者】

吉岡町教育委員会 山口教育長

【事務局（教育委員会）】

新井教育次長、鈴木教育次長、春田義務教育課長 他2名

【事務局（知事部局）】

田子知事戦略部長、古仙戦略企画課長

（会議開始前に、会議構成員が、吉岡町立明治小学校の1人1台PCを活用した先進的な取組を視察）

## 1 開会

## 2 あいさつ

（山本知事）

- ・本日は、視察に御対応いただいた吉岡町の山口教育長、山崎明治小学校長、お集まりいただいた県教育委員会の皆さんに感謝申しあげたいと思います。
- ・総合教育会議で現場の視察をするのは、会議設置以来、初めてのこととなります。知事と教育委員会の皆さんと一緒に教育の現場を視察し、しっかりと情報を共有していくことが、とても大事ということを改めて感じました。
- ・吉岡町の山口教育長には群馬県教育イノベーション会議にも参加いただき、県政に多大な御貢献や御協力いただき、感謝申しあげます。
- ・本日、明治小学校を山崎校長の御案内で視察させていただき、一言でいうと、感銘を受けました。小学校3年生ぐらいであれだけ上手く自然にパソコンを使ってネットを使うことに感銘を受けました。こうやって子どもの頃からデジタルの窓が開かれてるとするのは、素晴らしいことだなと思いました。
- ・また、先生方の授業での様子を拝見して、根本的な教育の情熱とかは変わらなくても、先生に求められる能力や授業のスタイルは、少しずつ変わってくるんだろうなと強く感じました。
- ・加えて、教育委員の皆さんともお話ししたのですが、授業を受けている子ども達がみんなリラックスして授業を受けている。雑談風に思い切って色々発言しながら、授業を受けているということに、とても感銘を受けました。
- ・ICTを活用して、他の子が何を考えているか情報を共有しながら、自由に授業を受けている、このスタイルも感銘を受けました。

- ・群馬県では、OECD（経済協力開発機構）の実施する社会情動的スキルに関する調査に参加するための補正予算について、今回の県議会で、議決をいただきました。
- ・この調査は、いわゆる「非認知能力」についての調査です。子ども達の能力は千差万別で、いわゆる偏差値とか学力だけでは計れないと思います。群馬県では、始動人というコンセプトのもとに、学力とか偏差値だけでは計れない可能性やスキルを伸ばしていくということを目指しています。
- ・今回の調査で、色々な個性を計る指標ができれば、どうやって子ども達の個性を伸ばせるかわかるのではないかと考えています。
- ・今回視察させていただいた授業では、デジタル時代の非認知能力を伸ばす取組が取り入れられているのではないかと感じ、本当に素晴らしいと思いました。
- ・吉岡町で実施されているような取組を、県内の様々な学校に広げて行くことが大事と考えています。引き続き、知事と県教育委員会が力をあわせて、群馬県ならではの教育を作って行きたいと思いますので、よろしくお願いします。

(平田教育長)

- ・知事と教育委員会の意見交換の場を設けていただき、御礼申し上げます。また、山口教育長、山崎校長をはじめ、皆様方のおかげで、このような機会をいただけたことに御礼申し上げます。
- ・視察させていただいた様々なプログラムを運営できているのは、明治小学校の一人一人の先生が、ICTを使った能動的な学びを理解し、自分事として授業に取り入れているからだと思います。能動的な空気が学校内に満ち満ちていて、子どもたちが実に生き生きと自らを表現し、のびのびと自然体で学んでおり、素晴らしいと思いました。
- ・こうした取組を他の市町村にもつなげていくには、どうしたらよいか、そういったことも意見交換させていただきたいと思います。

### 3 議事：「群馬県教育イノベーションプロジェクト及び1人1台PCを活用した教育DXの推進について」

- 資料1「群馬県教育イノベーションプロジェクトの方向性」、資料2「県教育委員会が目指す教育イノベーション」を事務局から説明。
- 吉岡町 山口教育長から資料3に基づき、吉岡町の取組を説明。

#### ○意見交換

(1) 群馬県教育イノベーションプロジェクト及び1人1台PCを活用した教育DXの推進について

(竹内委員)

- ・まず、吉岡町の一人一台PCを活用した授業では、自分の想像を超える活用をされており、驚きました。先生方の中でソフトウェアに詳しい人はあまりいないのかなと思いますが、よくあそこまで児童を導き出す方策をとれたなど、先生方の努力に感謝と敬意を表したいと思います。
- ・我々の年代になると、社会的な制約で—自由な発想がなかなかできませんが、視察させていただいた児童の絵や文章を書いている様子を見ると、非常に自由な発想で、色使いも素晴らしい。子どもたちが伸び伸びしているのも見て取れて、ちょっとうらやましいと思いました。
- ・PCのキーボードをみると抵抗する大人も多い中、子どもたちは率先して指で触っていて、この子たちは社会に出てPCに対する抵抗がなくなるのではないかと感じました。

こんな使い方ができる、あんな使い方ができると子どもたちが発見すると、知事がおっしゃっている始動人が生まれてくるのではないかと、そんな期待が持てました。

- ・情報セキュリティについて山崎校長に伺ったところ、かなりしっかりされており、心配ないと思いますが、それでも油断をしたところに隙ができますので、今後もしっかりよろしく願いできればと思います。
- ・また、ブルーライトの問題についてですが、できれば、児童が30分モニターの画面を見つめたら、目を休ませてほしいと思います。ブルーライトは網膜を突き抜けてしまうので、目の劣化に影響します。小学校のうちに目を劣化させてしまうと影響が大きいので、御留意いただければと思います。

(沼田委員)

- ・まず授業を視察させていただき、率直に感じたのは、明治小学校の子どもたちは、ずっと頭を動かし続けるような授業を受けているので、相当頭が疲れた状態で家に帰るのではないかとということです。明治小学校のような学びは、子どもたちにとって、自分の成長を実感できるような、そういう喜びに変わっていくような学びになるのではないかと感じました。
- ・その中で大きく3点ほど意見や感想を申し上げたいと思います。1点目は、明治小学校での学びは、子どもたちにとって、先程申し上げたように、頭が思考している状態がずっと続いている。これこそが学ぶということにおいて、非常に大切なことだと思いました。頭をグルグル回転させた状態で新しく気づいた事、自分で手を伸ばして新しく発見できた喜びそのものが彼らの血肉になって、日常生活あるいは大人になってからの生活にもつながっていくのではないかと感じました。
- ・2点目は、先生についてのことですが、先生達が子どもたちの様子を敏感に察知し、適切に声をかけてみるなど、子どもたちの頭をグルグル回転させて考えさせて行くための工夫をしようと尽力されているところが見られて、とても感動しました。
- ・3点目は、先程、吉岡町の山口教育長からの御説明の中で、吉岡町教育委員会が先進的な取組を進めていく上で、学校と連携し、学校との対話を通じて進めてこられたというのがよくわかり、すごく感動しました。おそらく学校の先生達がこうしたいと思うことに、町の教育委員会がしっかりバックアップし、教育委員会としての方向性を示していく中でも、学校の先生と意見交換しながら形にしていっていただろうと感銘を受けました。

(河添委員)

- ・今日はありがとうございました。他クラスの先生が授業しているところを別のクラスで見る、異なるクラスが学習内容を共有して授業を進めていく、個々の児童の進捗度にあわせて学習を進めていくなどといった取組は、本当に勉強になりました。
- ・山口教育長をはじめとした教育委員会の皆さんが教育の方針をパッケージとして分かりやすく示し、それをもとに学校が具現化する。こういったスタイルの進め方をこれからどこでもやっていかななくてはならないということを強く感じました。
- ・吉岡町の個別最適な学びの取組はかなり進んでおり、協働的な学びも、私としては驚くようなクラスを超えた取組を進めており、非常に素晴らしい取組だと感じました。
- ・これから、学級や学年を越え、学校も越えて交流していく上で、先生がコーディネーターとしての役割を果たしていく、そういったことが大事だと思いました。
- ・子どもたちが、生き生きと自己肯定感を高めながら取り組んでいる様子を見て、日頃からの先生方の取組や吉岡町教育委員会の取組は素晴らしいと感じました。

(代田委員)

- ・本日はどうもありがとうございました。子どもたちが、パソコンやタブレットを使い、タイピングができることに驚きを感じて、子どもたちみんなが楽しそうに授業を受けているところが印象的でした。
- ・一人一台端末を活用して学んだ子どもたちは、パソコンやタブレットなどの機器に触れることから始まって、遊びの感覚が次第に学習へと変化していく、そして楽しくなっていく、というように感じます。
- ・授業に遅れを感じると思う子がいれば、家に帰ってタブレットを使って復習をするなど、一人一台端末の用途は様々であり、思った以上に学力向上も期待できると思いました。
- ・保護者として心配なことは、家でも学校でも画面を見ていることが多くなると思うので、身体面からみて、寝る前は操作しないなど時間を決める必要もあると思いました。夜遅くまで触ることのないようルールを決めていくことが、一番大事だと思います。
- ・職員室で拝見した児童の健康管理システムについて、全ての先生が健康管理情報を共有できるというところで、保護者としては、安心して学校に通わせられると思いました。

(益田教育長職務代理者)

- ・本日は学校を視察させていただき、ありがとうございました。何点か感じたことをお話しさせていただきたいと思います。
- ・まず、明治小学校では、一人一台端末活用の底力をつけているなど感じました。また、知事もおっしゃっていたように、一人一台端末の活用で、教え方の形が変わる、一人一人のケアを学校で支援できるようになる、教壇に立つ先生に求められる能力が問題となってくる。この3点を私も痛感しました。
- ・先程、吉岡町の山口教育長から御説明があったように、長い時間をかけて、学校をあげて、町教育委員会をあげて、やってきた成果であると実感しました。
- ・知事から社会情動的スキルが大変重要だとのお話を伺いました。社会情動的スキルは、責任感や粘り強さ、他者との交流、他者との協働といったものを指すとのことですが、今回の視察で、明治小学校では、まさにこういった能力を、ICTを活用して育成していると思います。
- ・また、知事からOECDの実施する社会情動的スキルの調査に参加されるというお話がありましたが、私がIEA（国際教育到達度評価学会）の実施する国際数学・理科教育動向調査（TIMSS）の国内調査委員を引き受けて感じたことは、日本の子どもたちが分かるような翻訳や学校現場の説明、保護者への説明、個人情報への取扱いが、今後調査を実施していく上で重要となってくる問題ではないかと感じました。

(沼田委員)

- ・知事がおっしゃっていた子どもたちがリラックスして学んでいたという話は、重要な観点だと思います。山口教育長をはじめ、学校の先生達も、リラックスしてやってみようという雰囲気があり、この環境こそが新しい教育イノベーションを生み出す原点ではないかと思います。心理的安全性の高さを、学校の中や子どもたちの学ぶ環境の中でどれだけ作れるかということが重要だと感じました。
- ・また、学校の先生が何かやってみようと思ったときに、それを考えられる時間と試せる時間をどれだけ学校に担保できるかということが、非常に重要なポイントだと感じています。

(山本知事)

- 心理的安全性は、とても大事だと思います。リラックスしているかどうかは、人間の能力を発揮するうえでとても大事だと思うので、そういう状態を学校でもどんな会社でもつくるのが大事だと思います。人間は、遊びの感覚があるとき、クリエイティビティを発揮すると考えています。
- 皆様から、大変貴重な御意見をいただき、参考になりました。群馬県政や県の教育の在り方を考えていくに当たり、吉岡町の取組も含め、しっかり参考にさせていただきたいと思います。

(以上)